

《専門教育科目 保育士資格関連科目 保育の本質・目的》

科目名	子ども家庭福祉				
担当者氏名	藤野 ゆき				
授業方法	講義	単位 卒業の必修・選択	2・選択	開講年次・開講期	1年・前期
科目 / 施行規則に定める 科目区分又は事項等	(保) - 保育の本質・目的に関する科目				

《授業の概要》

子ども家庭福祉では子どもと保護者のおかれている現実を様々な視点から概観しながら、子どもとその家族が安心して生活できる条件について考察を深めていく。そのため子ども家庭福祉の各制度について、保育、虐待、社会的養護、障害のある子どもなどのテーマを通して、具体的な事象を踏まえて解説する。単なる知識の修得にとどまらず、学生自らが考え、思考する機会を数多く設定しながら進行していく。アクティブラーニングとして事例理解を目的としたロールプレイを実施する。

《参考図書》

講義中に指示する。

《教科書》

講義中にプリントを配付する。

《授業の到達目標》

1. 現代社会における児童とその家族がおかれている現状について理解する。
2. 子ども家庭福祉における保育のあり方と実態について関心をもつ。
3. 子どもの最善の利益を支える制度や実施体系について理解する。
4. 子どもの育ちに関わる社会、人間関係、社会制度における現状と課題について主体的に考えることができる。
5. 専門職としての保育士を取り巻く児童家庭福祉の動向と展望について考え、行動できる。

《科目番号 / 担当形態 / 免許資格の必修区分 / 備考》

科目番号：P05
 担当形態：単独
 幼稚園教諭：・
 保育士：必修
 備考：アクティブラーニング実施

《成績評価の方法》

各講義で提示する小レポート 40%
 遠隔講義等のワークシート 20%
 課題研究 40%

《担当教員の実務経験と授業の関連》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容 / 学習課題【予習復習・時間】
1	子ども家庭福祉の意義	子ども家庭福祉の概念・理念/児童、福祉という言葉に着目し、そこから発想することを考える【30分】
2	現代社会と子ども	現代社会と子ども・歴史的変遷/自分の暮らす地域における子どもを観察し、現状を考える【30分】
3	現代社会と子ども	現代の子どもの置かれた状況について理解する/講義の中で行ったワークについて自らの考えをまとめる【30分】
4	子ども家庭福祉の制度と実施体系	児童福祉に関する法律と制度/講義の中で提示された質問の内容について自らの考えをまとめる【30分】
5	子ども家庭福祉の制度と実施体系	児童福祉機関と施設/教科書の児童福祉施設の説明を熟読し、施設の内容について理解する【30分】
6	子ども家庭福祉の制度と実施体系	母子保健・障害児/社会手当制度についてプリントを確認し、居住する地域の制度について調べる【30分】
7	子ども家庭福祉と保育	保護者のもつ社会背景を理解し、保育所制度の概要を知る/子どものを育てることについての考えを整理する【30分】
8	子ども家庭福祉と保育	保育所利用の社会的背景・諸制度と実態/配付したレジメを振り返り、保育の制度を理解する【30分】
9	子ども家庭福祉と保育	保育所に関わる費用/居住する地域について、HPや広報などを活用して保育所の制度を確認する【30分】
10	子ども家庭福祉と保育	保育政策と実態/待機児童の実態について振り返り、自らの関心を整理する【30分】
11	子育て支援と虐待	子育て支援の現状 - 児童虐待が生じる社会背景についての理解/児童虐待に関わるニュースや新聞記事に目を通しておく【30分】
12	子育て支援と虐待	事例検討としてのロールプレイの実施/講義で行った演習について、振り返り、これからどのような実践をしたいか考える【30分】
13	子育て支援と虐待	子育て支援の現状 - 児童虐待防止/児童虐待に関わるニュースや新聞記事に目を通しておく【30分】
14	子ども家庭福祉の実践の課題	【課題研究】子育て支援の実態を考える/課題研究の内容について調べかつ考察する【90分】
15	子ども家庭福祉の実践の課題	【課題研究】講義の内容を振り返り、子ども家庭福祉で習得した内容についてまとめる/課題研究の内容について調べかつ考察する【90分】

《専門教育科目 保育士資格関連科目 保育の本質・目的》

科目名	子ども家庭福祉				
担当者氏名	佐藤 剛				
授業方法	講義	単位 卒業の必修・選択	2・選択	開講年次・開講期	1年・前期
科目 / 施行規則に定める 科目区分又は事項等	(保) - 保育の本質・目的に関する科目				

《授業の概要》

現代社会に生きる子どもが育つ家庭は多様化・複雑化している。子どもの育ちにとって、保育現場、教育現場はもちろんその他、地域、関係機関の役割も大きくなっている。本講義によって現代社会の問題や課題を見出し、理解しながら支援を行うために必要な知識を身につける。その中で自らが考え、現場での実践に結び付くようなイメージをもつ力の習得を目指す。

《参考図書》

必要に応じて授業時に適宜資料を配布、紹介する。

《教科書》

なし

《授業の到達目標》

1. 現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史の変遷について理解する。
2. 子ども家庭福祉及び児童の人権を理解し、保育者としての具体的な支援に結びつける。
3. 子どもの家庭福祉の制度や実施体系等について知識を習得し、理解を深める。
4. 子ども家庭福祉における相談支援や利用者の保護に関わる仕組みを調べ、理解する。
5. 子ども家庭福祉の動向と展望について理解・考察し、説明できる。

《科目番号 / 担当形態 / 免許資格の必修区分 / 備考》

科目番号：P05
担当形態：クラス分け
免許資格の必修区分：保育士必修

《成績評価の方法》

- ・ 課題（提出物、レポートなど）70%
- ・ 平常点（授業態度など）30%

《担当教員の実務経験と授業の関連》

療育支援センター、保育園、学童保育、放課後等デイサービスの現場経験をもとに具体的な事例等を活用し、子ども家庭福祉についての理解を深める。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容 / 学習課題【予習復習・時間】
1	オリエンテーション	子ども家庭福祉の概念について学習する / 子ども・家庭という言葉の定義や意味を考察する。【30分】
2	子ども家庭福祉の歴史の変遷	児童家庭福祉の歴史について学習する / 日本の児童福祉についての歴史を調べまとめる【30分】
3	現代社会と子ども家庭福祉	現代社会における子どもたちの状況を知る / 子どもの権利条約を調べ内容を理解する【30分】
4	現代社会と子ども家庭福祉	児童の人権擁護を学ぶ / 講義内で使用するチェックシートを使用し考察する【30分】
5	子ども家庭福祉の制度と法体系	児童福祉に関する制度や法律を学習する / 児童家庭福祉に関連する法律を調べる【30分】
6	子ども家庭福祉の行財政と実施機関	行政の整備する制度を知り、その仕組みを支える財政、実施機関について学習する / 子どもや家庭にかかわる実施機関について調べる【30分】
7	児童福祉施設と専門職の役割	児童福祉施設の役割とその機能を学ぶ / 講義中に伝える福祉施設の役割や機能について調べる【30分】
8	次世代育成支援	子育て支援の必要性と子育て支援施策を学ぶ / 現代社会においての子育ての難しさや課題を調べる【30分】
9	家庭養育と社会的擁護	貧困家庭と外国籍の児童・家庭への対応 / 日本社会における貧困について調べ、現在問題となっていることを整理する【30分】
10	家庭養育と社会的擁護	児童虐待とドメスティック・バイオレンスへの対応 / 児童虐待とドメスティック・バイオレンスについての記事等を調べる【30分】
11	家庭養育と社会的擁護	非行問題・不登校（園）への対応 / なぜ非行が起こるのかを自分なりに考え、要因となることを調べる【30分】
12	家庭養育と社会的擁護	障がいのある子どもへの支援 / 障がいのある子どもが療育に必要とされる関係機関について調べる【30分】
13	児童家庭福祉の課題と展望	児童家庭福祉の現状と課題を整理し、今後の施策や援助のあり方を学ぶ / 機関連携とネットワーク構築の必要性について考察する。
14	子ども家庭福祉の実践課題	【課題研究】家庭支援について考える / 子育て支援において重要な家庭支援について自らの考えをまとめる【90分】
15	子ども家庭福祉の実践課題	【課題研究】講義で学んだことを振り返り、自分が学んだことや得たことをまとめる【90分】